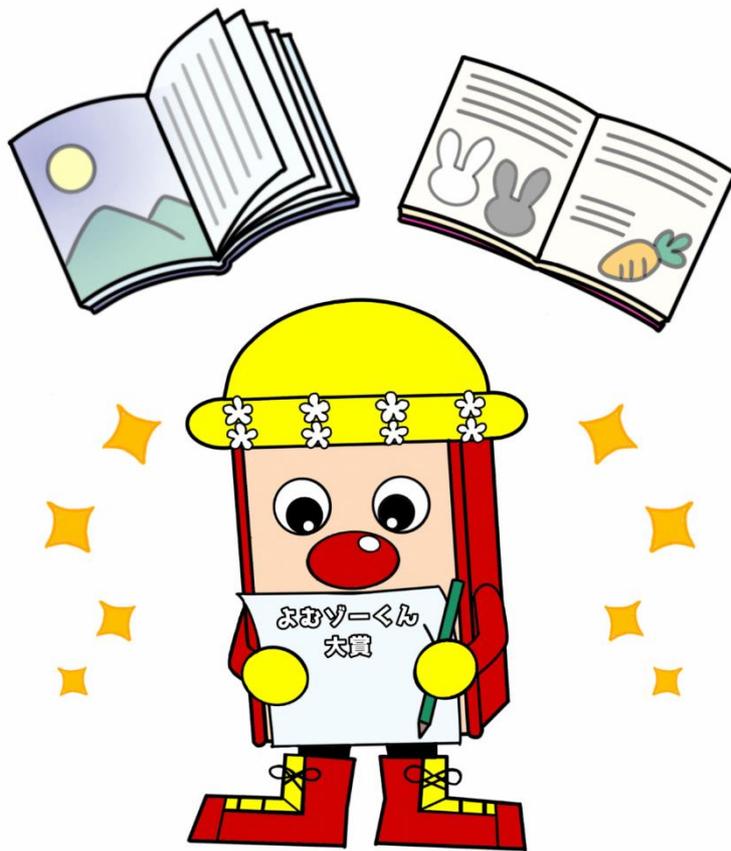


第18回よむゾーくん大賞 受賞作品集



2025年に読んだ本で、「感動した!」、「大好き!」、「これはいい!」など、藤枝市内の学生がおすすめしたい本を文章と絵で紹介する「作品」を募集しました。受賞作品をご紹介します。



予約

ここを
クリック

藤枝市立図書館に所蔵のある本は、
このボタンを押すと予約のページに移動します。



電子書籍は
ここをクリック

ふじえだ電子図書館に所蔵のある本は、
このボタンを押すと貸出・予約のページに移動します。

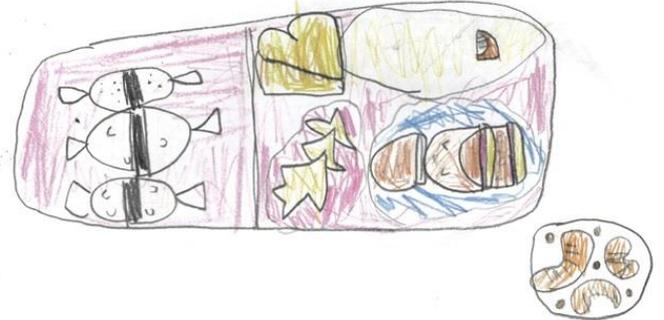
市長賞 小学生低学年の部

藤枝中央小学校 2年 堀井 唯名 さん

『ぼくのおべんとう』

スギヤマ カナヨ/さく アリス館

予約 ここを
クリック



わたしは、おべんとうが大好きです。友だちとなかよくつくえをくっつけてたべると楽しいし、いつも大好きなものばかり入っていておべんとうのふたをあけるときワクワクします。

この本は、あけるとおいしそうなおべんとうがでできます。いっしょにたべているようなきもちになるシタコさんウィナーがごはんの下にかくれていておもしろいと思いました。わたしのおべんとうという本とつなげていておもしろいので、ぜひ読んでみてください。

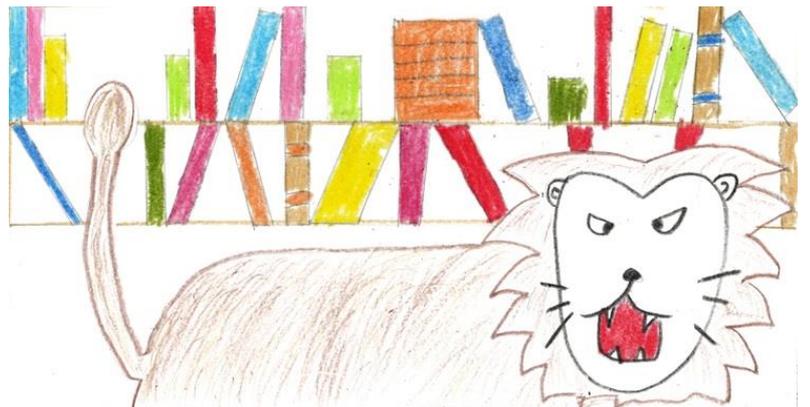
市長賞 小学生高学年の部

大洲小学校 4年 市川 昊青 さん

『としょかんライオン』

ミシェル・ヌードセン/さく
ケビン・ホークス/え
福本 友美子/やく 岩崎書店

予約 ここを
クリック



ライオンが図書館に来るといふ、ちょっとありえない場面から始まります。ルールを守っていれば、ライオンでも図書館に入ってよい館長。ある事こで決まりをやぶったライオン、自分から図書館を去り、雨にうたれるすがたに心がいたくなります。でも、ごかいがとけ、また図書館にもどって来れたのです。ルールを守るとは大切、でも、ちゃんとしたわけがあつて決まりを守れないことだつてあるのだから・・・それをすてきな形で教えてくれる本です。

市長賞 中学生の部

青島北中学校 3年 西ヶ谷 瑠花 さん

『幸せとは何か？』

木島 英登／作

かんべ みのり／まんが 神戸大学出版会

予約

ここを
クリック



電子書籍は
ここをクリック



この本は幸せの形が一つではないことを教えてくれます。17歳で車いす生活となった木島英登さんの体験、考え方に心動かされることまちがいないです。例えば、「成功するまで挑戦したら失敗にカウントされない。」という考え方。これは、失敗を「後退すること」と、とらえている人に響く言葉だと思います。「失敗は許せない、許されない。」といった考えを吹き飛ばしてくれる言葉です。このような幸せを掴む一歩をこの本から踏み出してみませんか？

市長賞 高校生の部

藤枝東高校 2年 木原 和都 さん

『氷菓』

米澤 穂信／著

角川書店

予約

ここを
クリック



『氷菓』は省エネ主義を信条として掲げる高校生・折木奉太郎が、古典部へ入部したことをきっかけに、学校生活の中で起こるささいな謎を解いていく物語です。文化祭を背景に、古典部の文集である『氷菓』の真実に迫っていく過程が面白く、中でもタイトルがなぜ『氷菓』なのかが明かされた瞬間は特にゾワッとしました。次々と謎を解明していく折木の思考回路が追えるのも魅力のひとつであり、静かな雰囲気ながらも引き込まれる作品です。

教育長賞 小学生低学年の部

藤岡小学校 3年 鈴木 莉子 さん

『大ピンチずかん』

鈴木 のりたけ／作 小学館



予約 ここをクリック

わたしは、四人兄弟です。兄弟が多いと、家の中でたくさんの「大ピンチ」が起こります。この本には、わたしの家でよくある場面がいっぱいで、思わずわらってしまいます。本を読むのがあまりとくいではないわたしでも、一つ一つのお話が短くて楽しく読めました。わらいたい時や、元気を出したい時、気分をかえたい時にぴったりの本だと思います。

教育長賞 小学生高学年の部

青島東小学校 5年 杉本 望遥 さん

『レ・ミゼラブル』

ビクトル・ユゴー／作

横山 洋子／監修

岡田 好恵／編訳

スギ／絵

学研プラス



予約 ここをクリック

この本は、罪人のジャン・バルジャンの人生の物語です。この本を読むと色々な所で、感動することができます。と中に、「どうして、こんなことをするんだろう。」と思う所がいくつかあります。私は、そのぎ問に対する答えは全て人を愛する気持ちにかかっていると思います。その、愛の力は人との関係を変えることができるほどです。ぜひ、ジグザグしたジャンの人生を、いっしょに味わってみてください。読み終わるころには、心があたたかくなります。

教育長賞 中学生の部

西益津中学校 1年 小池 幸徳 さん

『僕らは戦争を知らない』

小泉 悠／監修

Gakken



予約

ここを
クリック



電子書籍は
ここをクリック

この本は、特に今起きている戦争のことについてかいてあります。具体例には、ロシアとウクライナの戦争が挙げられていて、「なぜこのような戦争が起きたのか」「他の国はどのようなことを思っているのか」など、自分が知らないことまでくわしく、そして分かりやすかいてあります。僕らは戦争を知らない。だからこそ、遠い国の話と決めつけ目を背けずに、自分達にできることを精一杯やりたいとこの本を読んで感じました。

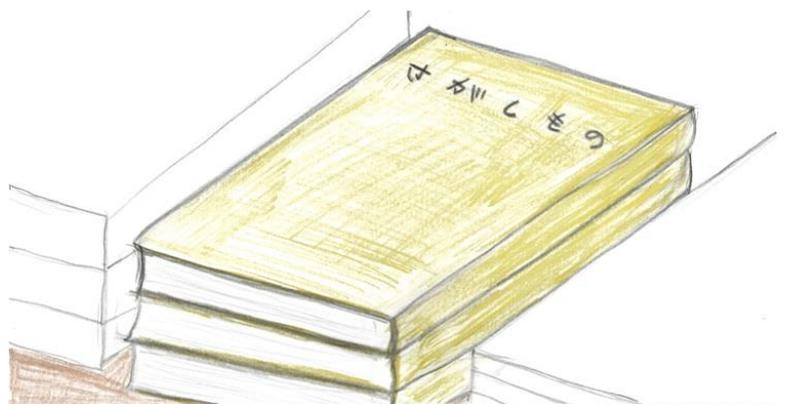
教育長賞 高校生の部

藤枝西高校 1年 山田 優衣 さん

『さがしもの』

角田 光代／著

新潮社



予約

ここを
クリック

私は学校の図書室で『さがしもの』という本に出会った。この本には偶然が重なって生まれた九つの本の物語が描かれている。読んでいるうちに、深く考えすぎるのではなく、少しずつ取り組むことが人生を豊かにする近道ではないかと気付かされた。人とだけでなく、小さなものとの出会いも大切にしていきたいと感じた。多くの本と出会っていきたい。これからどんな人生を歩んでいくのか、楽しみになる一冊。ぜひ読んでみてほしい。

図書館協議会長賞 小学生低学年の部

稲葉小学校 3年 石神 琴菜 さん

『先生、しゅくだいやすれました』

山本 悦子／作

佐藤 真紀子／絵

童心社



予約

ここを
クリック

わたしは、「先生、しゅくだいやすれました」という本をしょうかいします。

まず、ゆうすけくんがしゅくだいをわすれて、なぜしゅくだいをわすれたのか理由を先生にっていきます。そうしたら、ほかの子があしたはわたしがわすれようとおもっていたのにと、大さわぎになっていきます。

さいごは先生がプリントを作るのをわすれてしまいます。

先生までプリントをわすれてしまうなんて。その理由をぜひ考えながらよんでください。

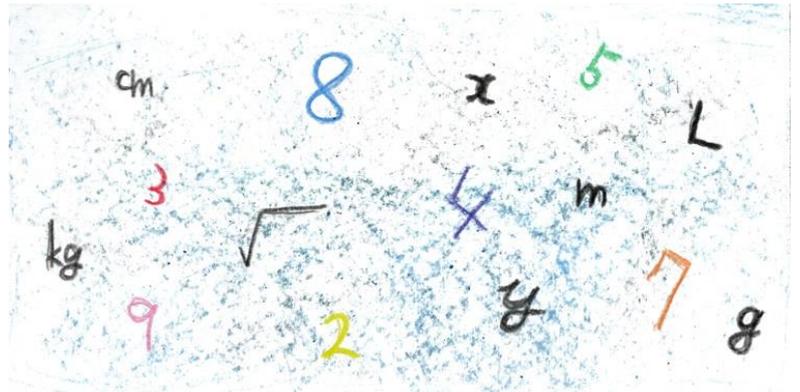
図書館協議会長賞 小学生高学年の部

西益津小学校 5年 渡邊 裕翔 さん

『知れば知るほど好きになる
算数のひみつ』

細水 保宏／監修

高橋書店



予約

ここを
クリック



電子書籍は
ここをクリック

みなさんは算数が好きですか。この本は「数」についてのふしぎなことやおどろくことが書かれています。

ぼくが気になったひみつは100万ドルの夜景といわれている理由です。これは夜景の電気代を計算したところ、本当に100万ドルくらいだったのです。電気代のことだと知っておどろきました。

算数がきらいでも、読んだらきっと新しい発見があると思います。ぜひ読んでみてください。

図書館協議会長賞 中学生の部

岡部中学校 2年 吉野 絢香 さん

『そして、バトンは渡された』

瀬尾 まいこ／著

文藝春秋



予約

ここを
クリック

あなたは、家族をどのような存在だと思っていますか。私は今まで「一緒にいてあたり前」や「血がつながっている人たち」だと思っていました。でもこの本を読み、私が感じていた家族はあたり前ではなく特別なのだと思いました。家族には色々な形があります。自分のおかれた環境を大事にしながら、支えてくれる人たちに感謝し、毎日を過ごしていけたらいいなと、あらためて教えてくれる本でした。心温まる作品なので、ぜひ読んでみてください。

図書館協議会長賞 高校生の部

藤枝順心高校 1年 今村 花暖 さん

『生きるぼくら』

原田 マハ／著

徳間書店



予約

ここを
クリック

私が紹介する本は、「生きるぼくら」です。私達は、はるか昔より、命をいただき生きています。生きるためには食事が大切です。日本人の主食である米。その米は、すべての人が平等に食べられるようにするため、日々農家の人が大事に育ててくれています。その農業が現在、後継者不足や気候の変化などにより縮小しつつあります。大切な米を守るための工夫や苦勞がよくわかる本です。命をつなぐために大切なものは何かを考えさせられます。